

2025年3月3日

2024年3月期 ディスクロージャー誌 正誤表

「2024年3月期 ディスクロージャー誌」の記載内容の一部に誤りがありましたので、お詫び申し上げますとともに、以下のとおり訂正いたします。なお、訂正部分には下線を付しております。

また、本ホームページに掲載しております当該ディスクロージャー誌は、訂正後のものに差し替えております。

【訂正箇所および内容】

<36 ページ>

損益計算書の注記事項（2024年3月期）

5.減損損失（1）概要

訂正前				訂正後			
当事業年度において、以下の資産について減損損失を計上しております。				当事業年度において、以下の資産について減損損失を計上しております。			
用途	種類	場所	減損損失額	用途	種類	場所	減損損失額
事業用資産 (店舗)	建物・その他有形 固定資産・土地	豊橋市・田原市	21,403千円	事業用資産 (店舗)	建物・その他有形 固定資産・土地	豊橋市・田原市	21,403千円
当組合は、キャッシュ・フローを生み出す最小の単位として、店舗を基本単位としております。営業活動から生じる損益が継続してマイナスとなっている店舗・経済環境が著しく悪化している店舗及び帳簿価額に対して著しく時価が下落している店舗について、減損処理の可否を検討し、減損対象となった資産は、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、減損損失として特別損失に計上しております。				当組合は、 <u>事業用資産（店舗）</u> については、 <u>キャッシュ・フローが相互補完的である地域単位</u> で、 <u>移転、廃止予定資産及び遊休資産</u> については、 <u>各資産単位でグルーピング</u> しております。 <u>営業活動から生じる損益が継続してマイナスとなっている地域、経済環境が著しく悪化している地域及び帳簿価額に対して著しく時価が下落している地域及び遊休資産等</u> について、減損処理の可否を検討し、減損対象となった資産は、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、減損損失として特別損失に計上しております。			

連結損益計算書の注記事項（2024年3月期）

5.減損損失（1）概要

訂正前				訂正後			
当事業年度において、以下の資産について減損損失を計上しております。				当事業年度において、以下の資産について減損損失を計上しております。			
用途	種類	場所	減損損失額	用途	種類	場所	減損損失額
事業用資産 (店舗)	建物・その他有形 固定資産・土地	豊橋市・田原市	21,403千円	事業用資産 (店舗)	建物・その他有形 固定資産・土地	豊橋市・田原市	21,403千円
<p>当組合は、キャッシュ・フローを生み出す最小の単位として、店舗を基本単位としております。営業活動から生じる損益が継続してマイナスとなっている店舗・経済環境が著しく悪化している店舗及び帳簿価額に対して著しく時価が下落している店舗について、減損処理の可否を検討し、減損対象となった資産は、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、減損損失として特別損失に計上しております。</p>				<p>当組合は、<u>事業用資産（店舗）</u>については、<u>キャッシュ・フローが相互補完的である地域単位</u>で、<u>移転、廃止予定資産及び遊休資産</u>については、<u>各資産単位でグルーピング</u>しております。<u>営業活動から生じる損益が継続してマイナス</u>となっている<u>地域</u>、<u>経済環境が著しく悪化している地域</u>及び<u>帳簿価額に対して著しく時価が下落している地域</u>及び<u>遊休資産等</u>について、減損処理の可否を検討し、減損対象となった資産は、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、減損損失として特別損失に計上しております。</p>			

以上